

絹中だより



発行日 平成28年11月25日
 発行者 小山市立絹中学校長 柏崎正喜
 小山市福良 2240-1 TEL 0285-49-0141
 E-MAIL: kinuj@oyama-tcg.ed.jp

職場体験学習(まいちゃれんじ)

11/17(木)～11/18(金)

事業所に出かけていって、仕事を体験させてもらう職場体験学習(まいちゃれんじ)に2年生が取り組みました。体験希望の職種調査を1学期に行い、事業所への体験依頼、体験当日の日程の確認等、事前の準備をたくさんしてきました。そして、体験当日を迎えました。事業所への送迎につきましては、保護者の皆様にたいへんお世話になりました。お陰様で、事故なく、たくさんの成果を上げて職場体験学習を終えることができました。

今年は17の事業所で体験させていただきました。この職場体験学習を通して、勤労の尊さを学び、職業人として将来の自分のあり方を考える機会とすることができました。現在は体験学習のまとめを作っているところです。職場体験学習のまとめの発表会は、2月2日(木)に予定されている「立志を祝う会」で保護者の皆様に来校いただいた時に、併せて行う予定です。



【新市民病院での体験】



【マクドナルドでの体験】

きぬの里訪問

11/16(水)

1年生がきぬの里訪問を行いました。この行事は絹中では毎年1年生が実施しています。今年は、最初に合唱コンクールの歌「大切なもの」を披露しました。次に「ふれあいタイム」として、子どもたちとお年寄りの方の話し合いをさせていただきました。最後に歌「ふるさと」をリコーダーで披露したり一緒に歌ったりしました。お年寄りの皆さんがとても喜んでくれました。今後も続けていきたい行事の一つです。



【「ふるさと」の披露】



【ふれあいタイムのひとつ】

ケアンズ派遣報告会

11/14(月)

8月にオーストラリアのケアンズに小山市が中学生を派遣しましたが、その報告会が行われました。本校の荒井沙妃さん、渡邊聖典さんもしっかりとその成果を発表してくれました。最後にケアンズでホームステイ家庭やお世話になった方にお礼として披露してきた歌「ふるさと」を、手話を入れて素晴らしい歌声で発表してくれました。



「絢のふるさと」発表

11/19(土)

「絢のふるさと」という歌を、生涯学習センター(ロブレ)にて結城東中と合同発表しました。この歌の作曲者は結城市出身の宮本貴奈さんです。本場結城絢ユネスコ無形



文化遺産6周年・小山市結城市友好都市盟約2周年を記念して発表会が開催されました。

本校は小山市代表として指名され、校内で16名を選抜して発表会に臨みました。結城東中は吹奏楽部の皆さんが参加しました。合同練習はできなかったにもかかわらず、両校の生徒が気持ちを一つにして素晴らしいハーモニーを奏で「おやま きもの日」に花を添えました。

市民文化祭学校音楽祭

11/10(木)

今年の音楽祭も、絹地区の小中学校4校の合同発表を行いました。合同練習は1度だけでしたが、本校のブラスバンド部の演奏で「君をのせて」を3小学校の子どもたちが一生懸命歌い、発表してくれました。ブラスバンド部の保護者の皆様には、楽器の輸送や搬入・搬出などたいへんお世話になりました。さらに、学校代表として3年生が1・2組合同で発表しました。曲は「あなたへ」でした。聴いている人に一生懸命さが伝わってくる素晴らしい発表でした。

この音楽祭の様子はテレビ小山で放送されます。12月5日(月)・6日(火)の2日間、8時・14時・20時の1日3回です。どうぞお楽しみに！

市民文化祭学校ダンス祭

11/14(月)

今年は保健体育の表現で、佐山先生の指導の下、創作ダンスに取り組みました。非常勤講師として竹澤真弓先生にもお世話になりました。校内で選考会発表会を行い、3の1男子チームと3の2女子チームが、学校代表として小山市の学校ダンス祭に出場しました。3の1チームは「風神・雷神」を、3の2チームは「花」をそれぞれ発表しました。特に、男子チームのスピードある演技は素晴らしく、他校の校長先生たちから何度も褒められました。



【男子 風神・雷神】

テレビ小山の放送は、12月11日(日)・12日(月)、8時・14時・20時、1日3回です。

PTA球技大会

11/19(土)

PTA球技大会で、ソフトバレーボールを行いました。今年はリーグ戦にしたため試合数が増えましたが、各チームとも協力し合っ



【優勝した2の1チーム】

て取り組んでました。大会は大変な盛り上がりを見せ、PTA会員の親睦を図るという目的を十分に果たせたと思います。結果は優勝2の1チーム、準優勝3の1チームでした。開催にあたり、学年委員の皆様には事前準備と当日の運営でたいへんお世話になりました。

子どもたちの活躍



- 小山市総合選手権卓球大会
ダブルス優勝 2の1岩渕佳央・2の2石嶋玲奈
ダブルス3位 2の2山川まどか・2の2坂入萌樺
シングルス優勝 2の2山川まどか 3位 2の1岩渕佳央
- 下都賀地区選抜卓球大会 団体準優勝
2の1荒川真音・2の1岩渕佳央・2の1大木紗也加
2の2石嶋玲奈・2の2坂入萌樺・2の2山川まどか
- 小山市理科研究展覧会
金賞 3の2赤荻羽純 2の2鈴木莉織
銅賞 3の2前島紫織 2の2山川まどか
1の1北島夏夢 1の1宮崎寧音
- 下都賀地区英語スピーチコンテスト
奨励賞 3の2渡邊聖典 2の2鈴木莉織 1の1藤郷姫子
- 平和ポスターコンクール
優秀賞 1の1添野育央
- 火災予防運動防火ポスター展
入選 2の1谷島彩也香
- 第5回文星杯中中学生ワープロ競技大会
第3位 3の1松永みずき

桑絹地区PTA連絡協議会 講演会

11/11(金)

11月11日(金)に延島小学校で桑絹P連講演会が行われました。「ゲームやネットの上手な付き合い方」という演題で、講師は鈴木稔様(日本メンタルカウンセリング協会理事長)でした。

携帯やゲームに依存する子どもは、心の中に孤独感、劣等感、不安等を抱えており、これには家族の人間関係が大きく関わっているという話でした。

<携帯・ネット依存から子どもを守る3つの秘訣>

- ①自信のない子どもでいることが問題なのである。自信のある子は建設的に道具を使うことができる。
- ②使い方を教えていないことが問題なのである。目的や使い方、責任の取り方のルールは決めているか？
- ③家族の中にある人間関係が問題なのである。

講師の方も中3生徒がおり、ゲームを何時間もやっていたそうです。客観的事実に基づき、なぜ必要なのか考えさせ、時間を意識させるためにタイムカードも取り入れたということです。家族会議では、子どもの意見を最後まで聞き、家族の一員であること、受験生であること、社会に出る準備段階であること等を伝え、親の主観を押しつけないようにしたそうです。

結論は、親子の絆、家族の絆を太いものにして、子どもの心に自己肯定感を高めるようにすることが、遠回りかも知れないけれど、子どもがゲーム依存症になることを防ぐ道である、ということでした。